

要 旨
-----

## 放射線授業事例

題名	安全・安心な社会づくりに貢献できるこころ豊かな子どもの育成 —教科等横断的な視点による資質・能力の育成と活用を通して—
応募代表者	福島県本宮市立白岩小学校 鈴木 茂
共同応募者	
対象（校種・学年）	小学校・全学年
教科	学級活動、生活、道徳、社会、総合、自立活動
単元など	
目的	震災から10年が経とうとしている現在、本校の子ども達や地域の人々は、震災前とほぼ変わらない生活を取り戻している。また、5、6年生においても、震災による災害についての記憶が失われようとしているのが現状である。福島県に生まれ育ったからこそ、放射線についての知識・理解と思考力・判断力、そして行動力を子ども達に身に付けさせる必要がある。さらに、震災による風評被害や子ども達の避難先で起きたいじめ問題などを顧み、人権教育、環境教育、防災教育、食育、健康教育、各教科等との関連を図り、教科横断的な視点から放射線教育を進めていく必要がある。そのため、上記のテーマを設定し、取り組むこととした。
キーワード	資質・能力の育成と活用、教科等横断的、カリキュラム・マネジメント
内容 (簡潔に)	<p>(1) 育成すべき資質・能力を明らかにした放射線教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「知識・技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等の涵養」の視点に基づいて、教科等横断的な視点から育成すべき資質・能力を明らかにする。</li> </ul> <p>(2) 社会に開かれた教育課程の視点に立った単元構想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の実態や地域の実情等を基に、地域と連携(環境再生プラザ、コミュニティ福島、JA、市役所など)したり、人的・物的支援を受けたりするなどして、学習効果の最大化を図る。</li> <li>○ 授業参観、学校公開において学習内容を家庭、地域と共有することで、「家庭・地域参加型の放射線・防災教育」を推進する。</li> </ul> <p>(3) 各学年における各教科等や〇〇教育との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 前年度の研究を基に各教科等や〇〇教育との関連を発展、深化させる。</li> <li>○ 年度始めに授業構想を関連図に表す。実践後に関連度(内容の軽重、時数、各領域との関係性等)によって円の重なりや大きさを修正し、実践の成果を可視化する。</li> </ul>
参考文献	福島県教育委員会「放射線等に関する指導資料」 文部科学省「放射線副読本」 福島県「防災ガイドブック『そなえるふくしまノート』」